

令和7年8月4日(月)
令和7年度 第1回 地方創生懇談会
【資料1】

第2期栗東市総合戦略

各指標目標達成状況及び
令和6年度実施計画の取り組み実績に対する評価
について

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

数値目標

人口の社会増減数

現状

●117人（年平均：H27-H30）

目標

●現状数の維持
（年平均：R3-R6）

令和6年度の達成状況

○中間評価時点 **-75.5人 未達成**
○年度評価時点 **-252.8人 未達成**

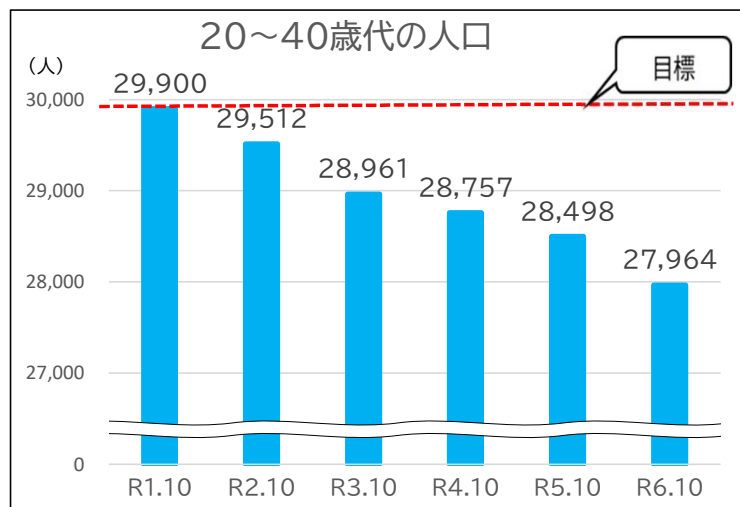
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口 (年度末 住基台帳 人口)	69,560 人	70,042 人	70,166 人	70,173 人	70,440 人	70,290 人	70,266 人
社会増減 (市統計書 4年平均)	+117人 (H27- H30)	+187人 (H28- H31)	+136人 (H29-R2)	-10.5人 (H30-R3)	-75.5人 (R1-R4)	-206.5人 (R2-R5)	-252.8人 (R3-R6)



【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

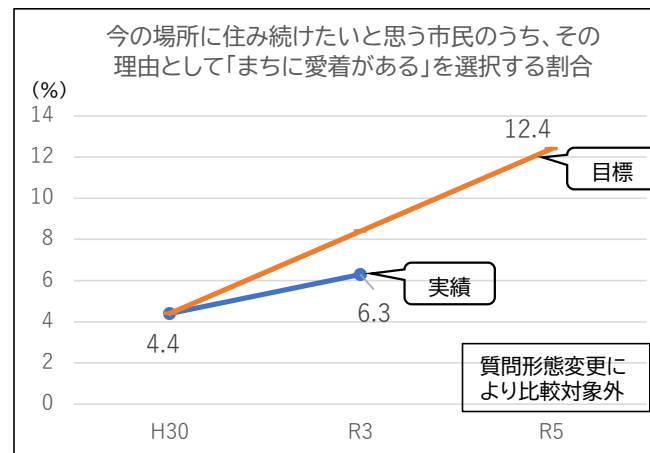
重要業績評価指標(KPI)

(1)良好な住環境の整備推進

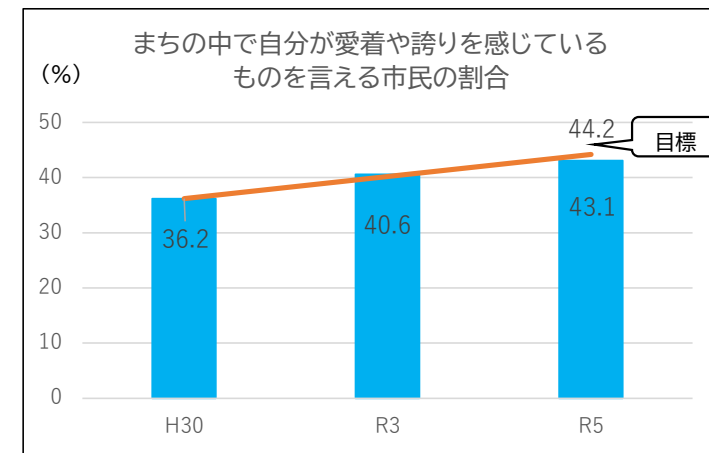


目標:未達成

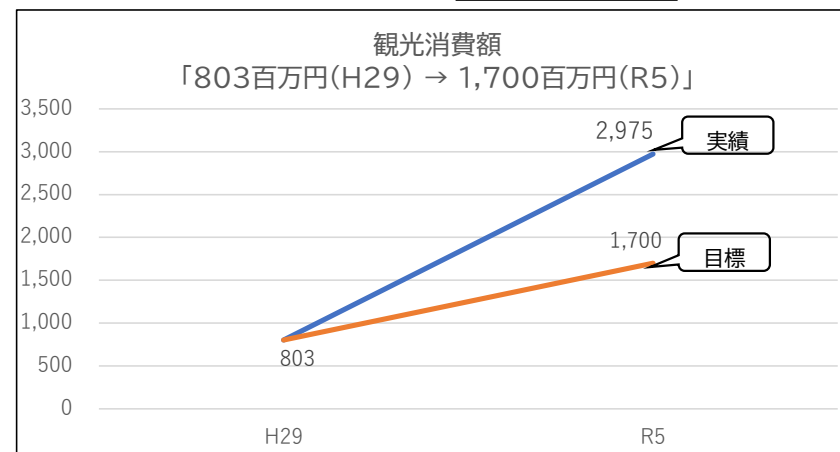
(2)地域資源を活用したシティセールスによるまちの魅力発信



目標:未達成



目標:未達成

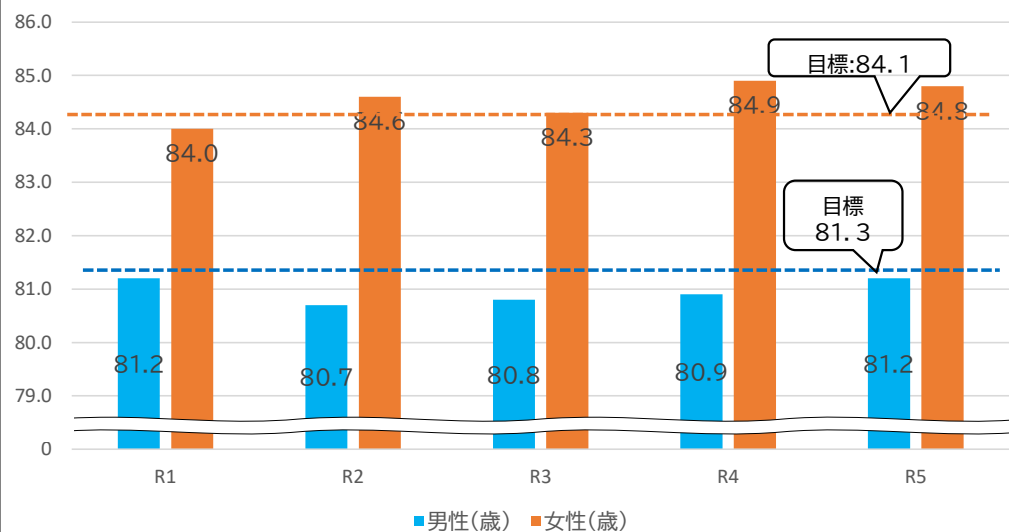


目標:達成

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

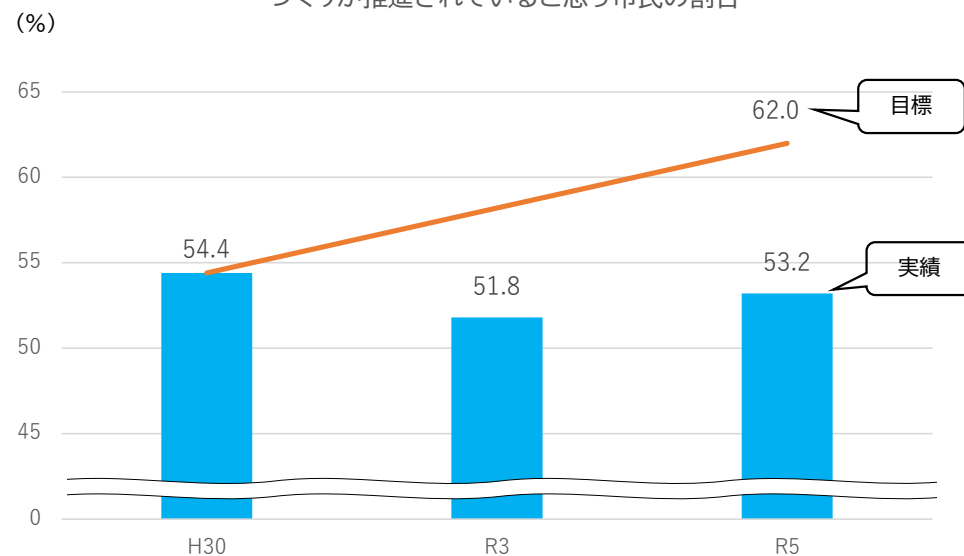
(3)誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進

健康寿命(平均自立期間)の延伸



目標:
男性 未達成
女性 達成

住み慣れた地域で、近隣との支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合



目標: 未達成

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

(1)良好な住環境の整備推進

20～40歳代を中心とした、多様なライフスタイルやライフステージに合わせた居住ニーズに適切に対応するため、良好な居住環境の形成に向け、地域の利便性や快適性の向上を図るとともに、空家等既存ストックの有効活用などの諸制度を促進し、多方面との連携により移住・定住希望者を含めた住環境整備の側面的支援に取り組みました。

特に将来に向け、バランスの取れた年代人口構成となるよう、20～40歳代の年齢層の流入確保と、それらの市内での住み替えによる流出抑制等、定住促進のための支援に取り組みました。

【主な取組例】

住宅ニーズに対応した住環境の整備、空家等を利活用した諸施策の促進、公共交通の充実、社会基盤整備の促進

令和6年度に実施した特徴ある取組（掲載事業5/5）

達成割合 2/5

取り組み内容	目標	実績	達成状況
「りっとう空き家バンク」を活用した移住・定住の促進	空き家バンクでのマッチングによる成約数 1件	1件	達成
子育て・若年世帯空き家リノベーション補助事業の実施	子育て・若年世帯空き家リノベーション補助事業の利用 1件	0件	未達成
くりちゃんバス等の利便性向上への取り組み〔動態調査の実施〕	年2回動態調査を実施	2回	達成
社会基盤となる道路ネットワークの整備促進	事業費割合（進捗率） 85.74%	81.49%	未達成
若年層の結婚に係る住宅関連費用補助による経済的負担の軽減及び移住・定住の促進〔栗東市結婚新生活支援事業の実施〕	申請件数 63件	55件	未達成

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

(2)地域資源を活用したシティセールスによるまちの魅力発信

馬をはじめとする地域資源を広く活用し、その魅力情報を発信することにより、市民のまちに対する愛着の醸成、さらには対外的なまちのPRを図ること
で、まちの魅力度を向上させ、本市の応援者やファンなど本市にさまざまな形で関わる人の創出につなげました。

また、市民や事業者、関連団体等との連携のもとで、馬をはじめ地域資源を活かした観光事業を展開し、滞在時間を延ばす取り組みを進めました。
さらに、資源循環型社会の構築などを通じて、まちの資産である豊かな自然環境の保全に努め、快適な環境の創出を進めました。

【主な取組例】

馬を活かしたまちづくりの推進、シティセールスの推進、総合的な観光戦略の推進、資源循環型のまちづくりの推進

令和6年度に実施した特徴ある取組(掲載事業6/6)

達成割合 2/6

取り組み内容	目標	実績	達成状況
馬とのふれあいができる公園整備の基本設計の実施	基本設計の実施 自然環境調査の実施	基本設計の実施 自然環境調査の実施	達成
公共施設を活用した民間事業者によるホースセラピー事業の展開	ホースセラピー事業の継続 【放課後等デイサービス】 契約者数240人、総利用件数7,200件 【発達児童支援】契約者数70人、総利用件数1,500件	【放課後等デイサービス】 契約者数248人、総利用件数5,986件 【児童発達支援】 契約者数82人、総利用件数1,317	未達成
ふるさとりっとう応援寄附制度等を通じた「馬のまち」のPR	馬関連商品取り扱い事業者 12社	馬関連商品取り扱い事業者 12社	達成
SNSを活用した市の魅力発信・PR活動の展開	広報大使としての活動(魅力発信)回数 ・広報紙での発信 年6回以上 ・広報紙以外での活動 年3回以上 Facebookフォロワー数、閲覧者数の増加 ・いずれも前年度比 +20%	広報大使の情報発信 ・広報紙への掲載 5回、Facebookへの投稿 19回 広報大使の活動実績 ・市内バスツアー 2回、講演会の実施 3回 ・市内イベントへの参加1回、Facebookフォロワー数 ・前年比+81人(R5.3 2,252人→R6.3 2,333人)	未達成
こんぜめぐりちゃんバスや旧和中散本舗特別公開など、地域の特性や魅力を活かした事業等の支援	こんぜめぐりちゃんバス利用者:1,000人 旧和中散本舗特別公開来場者:1,200人	こんぜめぐりちゃんバス令和6年度利用者:1,034人 旧和中散本舗特別公開令和6年度来場者:636人	未達成
ごみの減量化・資源化の推進〔家庭用廃食用油リサイクル〕	廃食用油回収量 年間10,000リットル	年間9,113ℓ	未達成

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

(3)誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進

高齢者、障がいのある人をはじめすべての人の人権が保障され、健康でいきいきと社会とつながりを持ちながら、地域社会において自らが主体的かつ安心して生活できるように、各種施策の推進に取り組みました。

特に今後老年人口が増加することから、高齢者が住みなれた地域で健やかに住み続けられるまちづくりを進めました。

また、併せて地域住民によるまちづくり活動を積極的に支援し、住みよいまちづくりの形成を図りました。

【主な取組例】

地域共生社会を実現するための地域包括支援体制の推進、介護予防・健康づくりと生きがいのある暮らしの実現、健康づくりの推進、認知症施策の推進、誰もが安心して暮らせるネットワークづくり・基盤づくりの推進、社会教育施設の整備、人権を基本とする施策の推進

令和6年度に実施した特徴ある取組（掲載事業8/12）

達成割合 11/12

取組み内容	目標	実績	達成状況
高齢者の社会参加促進による介護予防の推進〔介護支援ボランティア事業等の推進〕	個人宅でのボランティアについて、ボランティアの受け入れを希望する人とボランティア活動をしてもらいたいという人のマッチング後、実際に活動に結びついた割合90%	92.8%	達成
認知症になっても安心して暮らせる地域づくり〔認知症サポーター養成講座等市民啓発の実施〕	認知症サポーター数 累計7,500人	7,634人	達成
多くの高齢者が社会参加、介護予防に取り組むことで健康寿命の延伸に寄与する。	いきいき百歳体操の実践団体数77団体	75団体	未達成
地域福祉活動や地域づくり、まちづくりへの参画の仕組みづくり(コミュニティソーシャルワーカーの配置支援)	住民主体の地域活動をサポートするとともに、支援者と支援を必要とする人との結びつきを通じて、必要な人に支援が届く体制をつくります。	相談:807 訪問同行:7件 面談:284	達成

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

取り組み内容	目標	実績	達成状況
市民団体によるまちづくり活動の支援〔未来へつなぐ市民活動応援事業の推進〕	ふるさと納税(ふるさとりっとう応援寄附)を活用した市民活動団体新規登録団体数 1団体以上	1団体	達成
社会教育施設の整備〔国民スポーツ大会へ向けた市民体育館の改修〕	老朽化に伴う市民体育館の改修を適宜行うことで、今後の利用者の増加を促進し、健康寿命の延伸に繋げる。	老朽化に伴う市民体育館の改修を適宜行った。 また、国民スポーツ大会に向け、令和6年度6月に空調設備について整備が完了した。	達成
「第五次輝く未来計画」の推進	地区別懇談会の開催にあたり、各自治会で身近な人権課題を取り上げ、主体的に取り組むことができた割合が70%以上。	推進員へのアンケート項目である「テーマ・コースの選択など自治会の希望や思いをもとに懇談会が実施できましたか」において、81%が「できた」と回答し、主体性の向上がみられる。	達成
脱炭素社会の実現を目指した取組の普及〔住宅用太陽光発電システム等設置費補助、省エネ家電補助〕	・住宅用太陽光発電システム設置補助申請件数 10件/年 ・住宅用蓄電池システム設置補助申請件数 10件/年 ・省エネ家電購入補助申請件数 100件/年	・住宅用太陽光発電システム設置補助申請件数 6件/年 ・住宅用蓄電池システム設置補助申請件数 11件/年 ・省エネ家電購入補助申請件数 92件/年	未達成

※12事業のうち、主な8事業を掲載しています。

【まち】地域の活力を生み出す人口確保・定着に向け魅力あるまちをつくる

年度評価

数値目標の“人口の社会増減”は令和3年度より減少に転じており、減少幅は年々、増加傾向にあります。また、「(1)良好な住環境の整備推進」の重要業績評価指標である“20～40歳代の人口維持”についても、数値が低下傾向にあり、改善が見られませんでした。

「(1)良好な住環境の整備推進」、「(2)地域資源を活用したシティセールスによるまちの魅力発信」については、取組の達成率が半分に満たない結果となりました。子育て世代の転出超過が見られる本市においては、ニーズに合った住宅施策の展開によるUIJターンを含む居住誘導や、地域資源の魅力発信などによって市への愛着と誇りを醸成することによって、転出抑制を図る必要があります。

「(3)誰もがいきいきと暮らせるまちづくりの推進」は、ほぼ目標どおりの取り組みができましたが、「住み慣れた地域で、近隣との支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合」は目標に達しておらず、市民の意識と取組成果にギャップが見られることから、より効果的な取組を検討する必要があります。

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

合計特殊出生率

現状

●1.98(H29)

目標

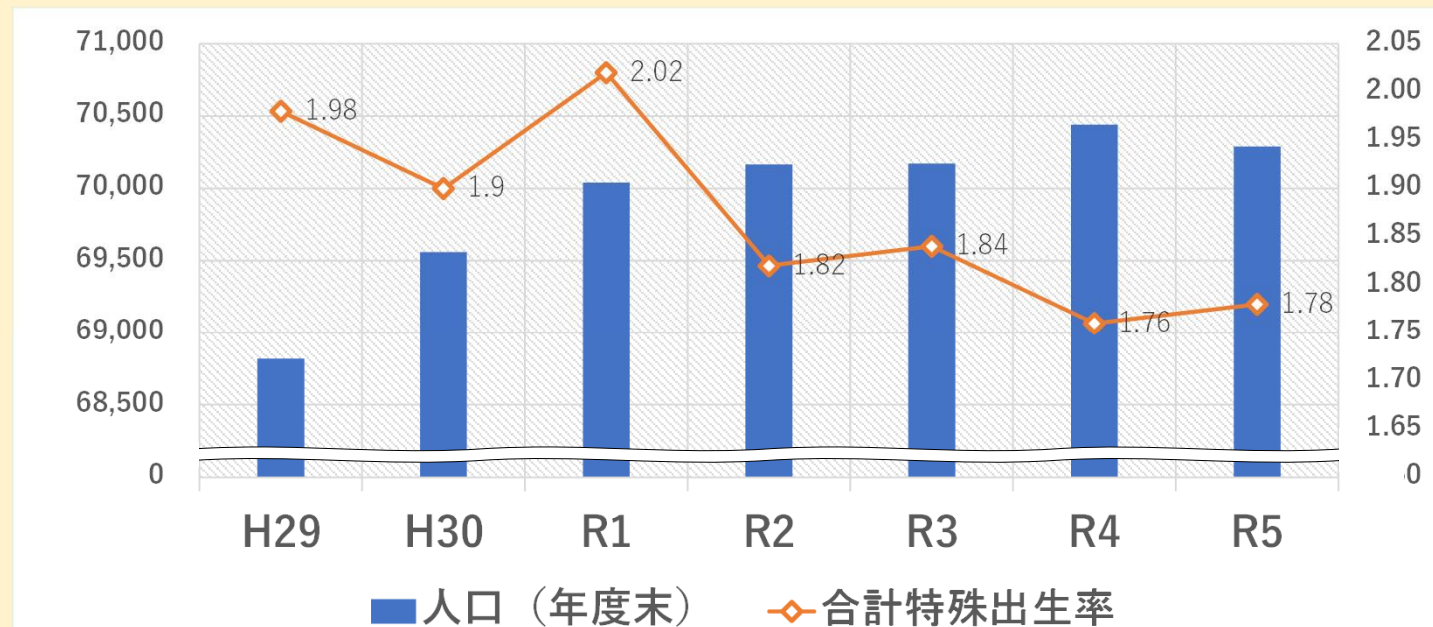
●現状値の維持(R6)

令和6年度の達成状況

○中間評価時点 1.84 **未達成**

○年度評価時点 1.78 **未達成**

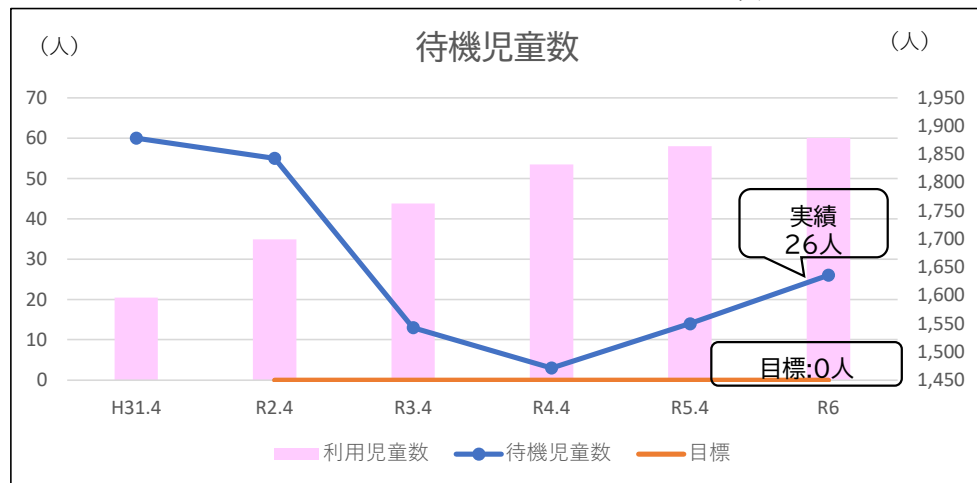
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
人口	68,817人	69,560人	70,042人	70,166人	70,173人	70,440人	70,290人
合計特殊出生率	1.98	1.90	2.02	1.82	1.84	1.76	1.78



【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

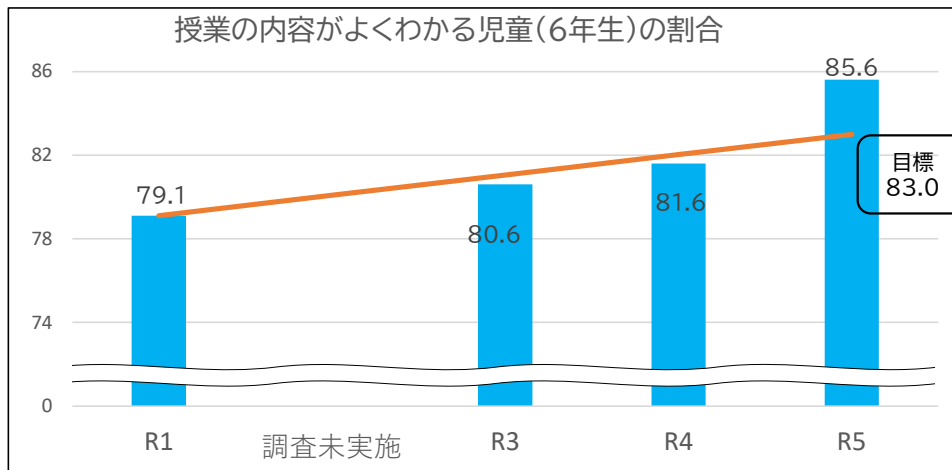
重要業績評価指標(KPI)

(1)妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援



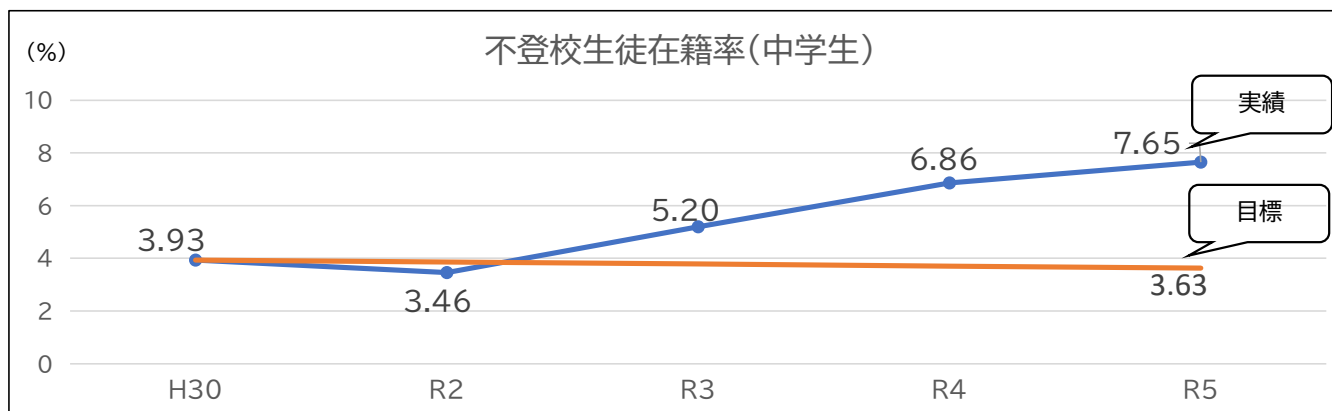
目標: 未達成

(2)確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備



目標: 達成

(3)すべての子どもの育ちの支援



目標: 未達成

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

(1)妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援

関係機関が連携する中、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対する相談支援体制をより一層充実させるとともに、適切な時期に適切な支援を提供し、子育てサークルとの協働による事業の展開を図りました。

また、保育所等の整備や保育士の確保、就学前保育への民間活力導入などにより待機児童の解消を目指すとともに、ニーズに合わせた保育機会の提供により就学前保育の充実を図ります。併せて学童保育の充実等、放課後の居場所づくりを進めることにより子育てと仕事の両立を支援しました。

さらに、出産・子育てに要する経済的な負担を軽減するため、妊娠から子育てに至る医療にかかる負担、保育等にかかる負担の軽減を図るための取り組みを推進しました。

【主な取組例】

妊娠期から子育て期にわたる相談支援体制の充実、支援の推進、待機児童の解消に向けた取り組み推進、出産・子育てに関する経済的負担軽減の取り組み推進

令和6年度に実施した特徴ある取組（掲載事業7/9）

達成割合 8/9

取り組み内容	目標	実績	達成状況
民間活力の導入〔民間事業者が運営する私立保育園等の新たな施設整備〕	民設民営化等の取組を進め、待機児童の解消に繋げる。また、公立園のこども園化の取組も併せて進める。	公立園のこども園化 1園 法人園（認定こども園）の建設に向けた準備 1園	達成
就学前教育・保育の人材（潜在保育士含む）の確保〔保育関連就職説明会や研修会の実施〕	保育のおしごとフェアや相談会・研修会の実施により、9名以上の保育士を雇用に繋げる。	「りっとうde保育のおしごとフェア」を2回実施 市内園への就職 10名	達成
学童保育所・地域子育て支援センター・児童館の充実〔運営の充実及び施設の維持補修〕	・学童保育所において、今後も入所希望児童の増加が見込まれる小学校区については、民設学童保育所設置・運営事業者を募集し、受入施設を整備する。 ・緊急性・安全性を踏まえ、優先度を判断しながら各施設の維持補修を行う。	・治田小学校区において、公募型プロポーザル方式により民設民営の運営事業者を決定し、施設整備を行った。 ・公設における既存施設の環境整備については、老朽化の対応として、金勝・葉山学童保育所空調設備改修工事や大宝学童保育所フローリング張替工事等を行った。	達成
福祉医療費の助成〔子ども医療費助成、乳幼児福祉医療費助成事業を実施〕	乳幼児および子ども医療費受給券の発行率 98%以上 ※制度に該当している方の申請漏れがないように申請勧奨等を行う。	発行率：99%	達成

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

取り組み内容	目標	実績	達成状況
赤ちゃんおむつ等の購入費用を助成	出生及び転入による新たな対象者全員への周知と申請機会を提供する。	対象者751人のうち748名に対し給付を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整備した。また、実績を基に制度周知や案内の内容を見直したほか、対象者の9割を対象者出生等の各種届出時に併せて案内し、それ以外の全員についても周知と申請機会を提供できている。	達成
ふたご・みつご出産就学支援助成事業	令和6年度におけるふたご・みつごを養育する全対象世帯に給付するべく、ホームページや広報、SNSや関係機関等を通じ、対象者に広く制度を周知する。	全対象世帯に給付を行うことができ、多胎児世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。 出生:17世帯 小学校入学:1世帯 中学校入学:20世帯(うち、みつご:1世帯) 高等学校入学:8世帯	達成
ブックスタート事業として、乳児と保護者を対象に4か月児健診時に、親子の絆を深めるきっかけづくりとして、絵本の読み聞かせと配布を行う	こども家庭センターや図書館と連携し、4か月児健診の流れを妨げることなく、確実に読み聞かせと絵本の配布を行う。	令和6年度誕生児に対し、4か月検診時に絵本2冊の配布及び児童館職員による読み聞かせを実施した。	達成

※9事業のうち、主な7事業を掲載しています。

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

(2)確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備

知・徳・体の調和の取れた、心豊かでたくましく生きる人材育成を目指す中で、子どもの学ぶ意欲の向上に向け外国語指導助手の派遣や情報通信技術(ICT)の活用などとともに、基礎学力の定着に向けた学習活動の実施、教育環境の整備、充実を図る中、次代を担う子どもの健全育成を図りました。

【主な取組例】

子どもの確かな学力の向上、学校ICTをはじめとする教育環境の整備、地域に根差した食育の推進

令和6年度に実施した特徴ある取組（掲載事業7/7）

達成割合 6/7

取り組み内容	目標	実績	達成状況
学ぶ意欲や基礎学力の向上及び「きらりフルチャレンジ」「栗東子育て教育Nextプロジェクト」の推進	各校年間1回、学ぶ力向上学校訪問時に授業改善について指導助言を実施する。また、「栗東子育て教育NEXTプロジェクト」において各中学校区ごとに保幼小中学校での取組を進める。	「栗東子育て教育NEXTプロジェクト」に基づいて、非認知能力を高める取組みを、中学校区ごとに各校1回以上実施できた。 「栗東子育て教育NEXTプロジェクト」に基づいて、非認知能力を高める取組みを、中学校区ごとに実施できた。 授業の内容がよくわかる児童(6年生)の割合がR1(79.1%)からR5(85.6%)と少しずつ増加していたが、R6は85.4%であった。	達成
学校施設・設備の充実〔GIGAスクール構想で配備した機器の利活用〕	各校において、ICTの効果的活用法を視点においた授業公開を1回以上するとともに、モデル校の公開授業を1回以上参観し、担当者の自己研鑽と各校の授業改善への啓発を行う。	授業公開を1回以上実施した。 授業の内容がよくわかる児童(6年生)の割合は昨年度より0.2%減少し、85.4%となったが、目標値83.0%は達成している。	達成
給食等を通じた食育の推進〔地元食材を活用した給食等〕	「栗東食材の日」を中心に、月1回の「食育の日」と関連付けて食育を進める。	毎月19日(前後)に「食育の日」を設定し、各学校で特色ある取り組みを市内学校12校すべてで実施した。	達成
	11か園で食育活動を推進する。	各園で栽培活動を実施し、収穫の喜びを味わうと共に、食への関心を高めることができた。毎月の給食だよりにより、保護者への食の大切さを伝え、簡単な調理レシピを掲載して、家庭においても旬の食材による手作りの良さを伝えた。	達成

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

取り組み内容	目標	実績	達成状況
給食等を通じた食育の推進〔地元食材を活用した給食等〕	小学3・4・5・6年生と中学1年生を対象にした食育授業の実施	小学3・4・5・6年生と中学1年生に食に関する指導を実施（内、小学4,5年生は、食に関する映像授業）	達成
生産者と消費者の交流の促進〔農業体験事業や伝統食・郷土料理体験〕	農業体験学習である「たんぼのこ事業」を全小学校で実施 9校	たんぼのこ事業全小学校で実施(8校)	未達成
学校施設・設備の充実〔公立学校施設大規模改造事業の推進〕	大規模改造・増築事業 3校 ・治田小学校校舎増築事業 ・栗東西中学校大規模改造事業 ・葉山中学校グラウンド改修事業	・治田小学校校舎増築事業 ・栗東西中学校大規模改造事業 ・葉山中学校グラウンド改修事業 計3校における教育環境改善事業を実施	達成

（3）すべての子どもの育ちの支援

幼少期から青年期に至る子どもへの支援、特に特別な支援を要する子どもへの福祉と教育をつなぐ支援などを行うため、特別支援、要保護児童、不登校などへの支援体制のさらなる充実を図りました。

また、地域全体で子どもの健やかな成長を支える環境づくりを推進するとともに、各校園、家庭児童相談室、児童相談所等関係機関との円滑な支援連携に努めました。

さらに、保育・教育分野における情操教育の一環として、馬を活かした取り組み検討を行いました。

【主な取組例】

すべての子どもの健やかな育ちを支える環境の整備、充実、生活困窮世帯の自立に向けた子ども学習等支援、馬を活かしたまちづくりの推進

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

令和6年度に実施した特徴ある取組（掲載事業8/9）

達成割合 6/9

取組み内容	目標	実績	達成状況
不登校児童・生徒等に対する支援〔学校サポート支援員の設置〕	不登校児童生徒の在籍率の低減を進める	不登校生徒の居場所を確保し、不登校者数が、昨年度に比べ14.7%減少した	達成
いじめ対策の推進〔いじめ等対策参事員の設置〕	いじめが要因の不登校児童生徒を0人にする	いじめが要因で不登校になった生徒が1名おり、不登校重大事態となった	未達成
不適応児童・生徒の支援〔スクールソーシャルワーカーの設置〕	家庭的要因による不登校生徒の減少	家庭的要因による不登校生徒の数は昨年度と比較し13人減少した	達成
子どもへの学習支援及び保護者も含めた生活習慣・育成環境の改善に関する支援の実施	家庭的要因による不登校生徒の減少	家庭教育支援員を1名配置し、保護者の支援を行うことができた	達成
福祉や教育分野における馬の活用検討	公立・私立園の5歳児を対象に、公立・私立園あわせて20か園で実施する。	公立・私立園合わせて20か園で馬に親しむ取り組みができた。5歳児による掲示物を作成し庁内ロビーに展示して、広く市民に見ていただく機会を設けた	達成
生活困窮世帯の自立に向けた子どもの学習支援や居場所づくり	居場所づくりの提供や、学習支援を実施します。 学習会の実施（2か所） 参加人数：15人	学習会の開催場所（2か所） 参加人数 23名	達成
様々な発達支援サービスの提供	巡回専門員派遣回数70回	巡回専門員派遣回数 44回	未達成
福祉や教育分野における馬の活用検討	公立・私立園の5歳児を対象に、20か園で実施する。	公立・私立園合わせて20か園で馬に親しむ取り組みができた。5歳児による掲示物を作成し庁内ロビーに展示して、広く市民に見ていただく機会を設けた	達成

※ 9 事業のうち、主な 8 事業を掲載しています。

【ひと】若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

年度評価

数値目標である合計特殊出生率は1.78で、目標値には達しなかったものの、全国的に見ると高い合計特殊出生率を維持しています。「栗東市結婚新生活支援事業の実施」や「赤ちゃんおむつ等の購入費用助成」など、結婚・出産・子育てへの一貫した支援を引き続き行っていく必要があります。

「(1)妊娠・出産・子育てをつなぐ安心の支援」の重要業績評価指標である「待機児童数」は、その解消までには至りませんでした。保育のおしごとフェア実施などにより保育士確保に一定の成果を出すことができました。また、公立園の子ども園化を進めることによって多様な保育ニーズへの対応を図ることができました。さらに、新たな法人園の整備による受け皿体制の拡充を進めています。

「(2)確かな学力と生きる力を育む教育環境の整備」の重要業績評価指標である「授業の内容がよくわかる児童(6年生)の割合」は年々、改善しており、目標値を上回ることができました。引き続き「栗東子育て教育NEXTプロジェクト」に基づく非認知能力を高める取り組みや、ICTの効果的活用法を視点においた授業を充実させるなど、教育環境の整備を推進します。

「(3)すべての子どもの育ちの支援」の重要業績評価指標である「不登校生徒在籍率(中学生)」は、年々増加傾向にあります。学校サポート支援員やスクールソーシャルワーカーの配置により多様化する子どもの生活背景や価値観に寄り添った居場所の確保により、子どもの育ちの支援を行いました。

【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

数値目標

事業所立地数

現状

●2,838件 (H28)

目標

●現状値の維持 (R6)

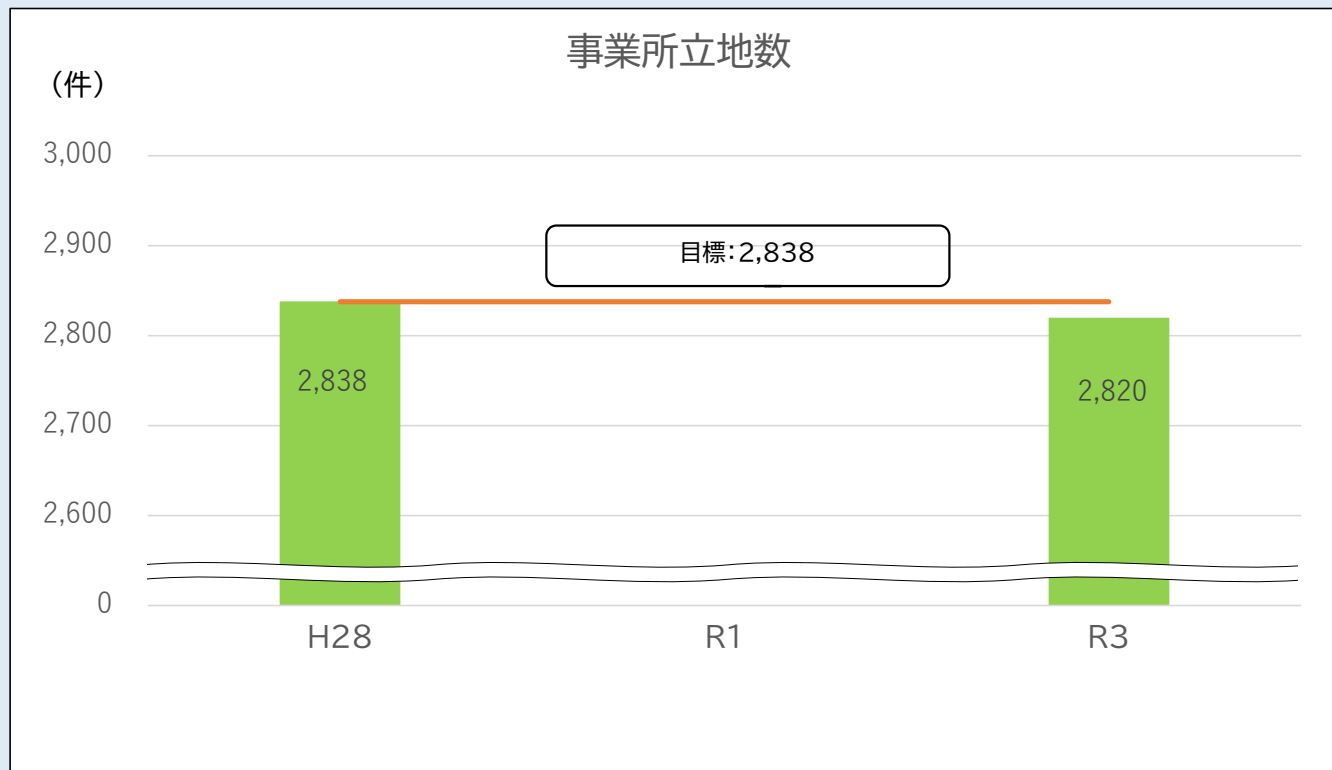
令和 6 年度の達成状況

○中間評価時点 2,820件 **未達成**

○年度評価時点 2,820件 **未達成**

	H28	R1	R3
事業所立地数	2,838件	—	2,820件

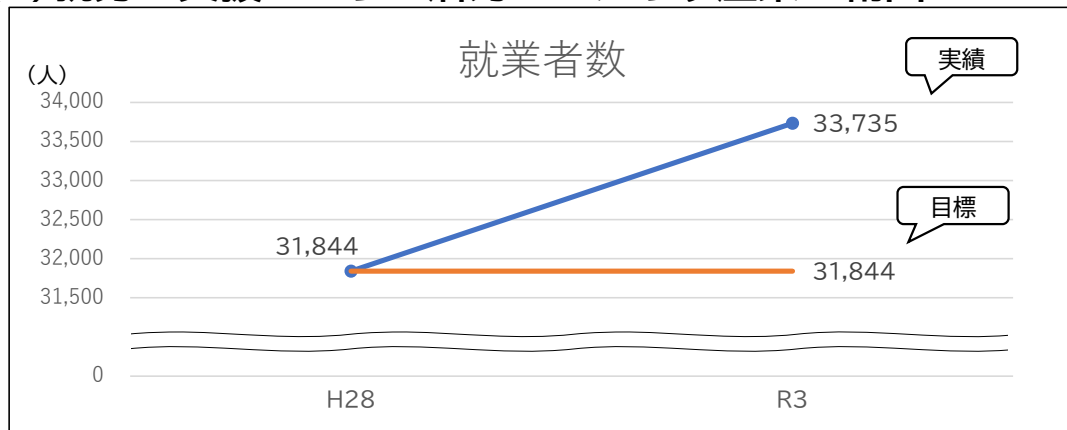
※令和元年は、基礎調査の調査項目が変更になったため数値なし



【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

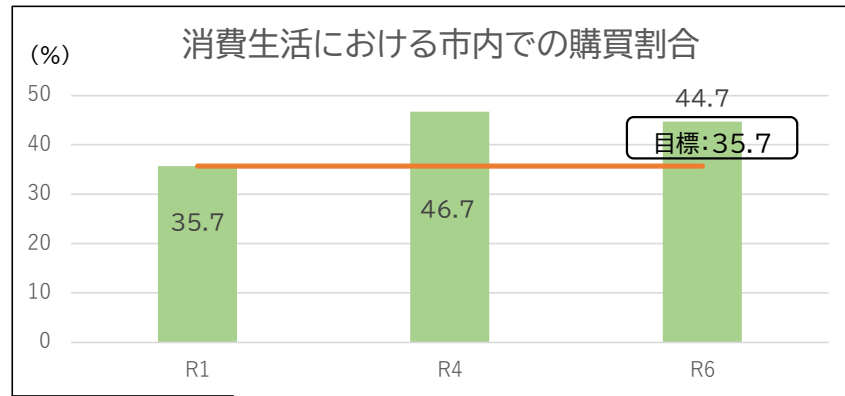
重要業績評価指標(KPI)

(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出



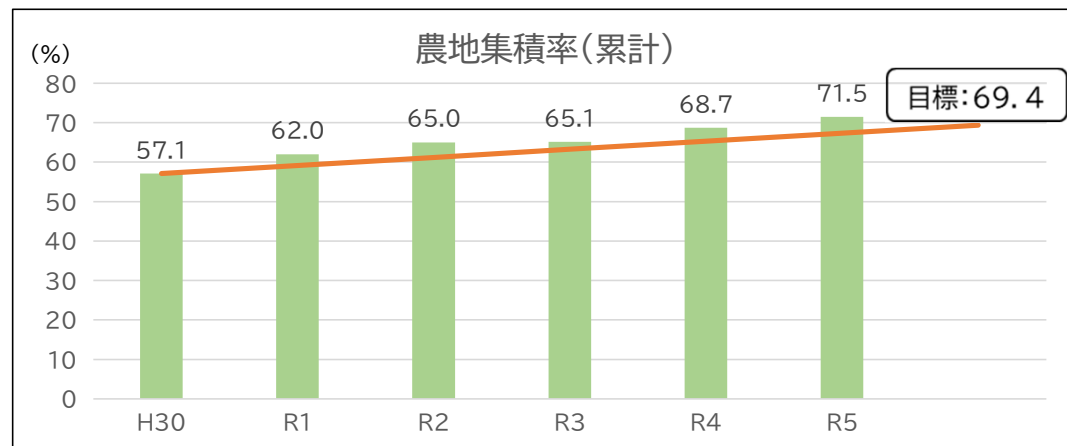
目標:達成

(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出

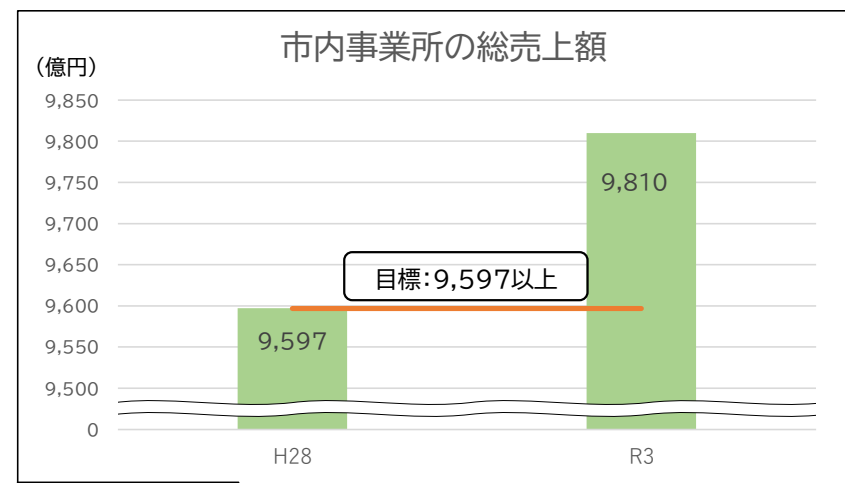


目標:達成

(3)農林業の振興支援による活性化の推進



目標:達成



目標:達成

【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出

若い世代や女性、高齢者、障がいのある人、外国人など誰もが能力を発揮し、生きがいを持って働くことができるよう、個々の実情に応じた就労支援や、魅力的な職場環境づくりに向けた支援を行いました。

併せて、道路交通の結節点に位置するという、まちの地勢的優位性を最大限に活かし、企業が進出したいくなる交通・立地環境整備支援、経済的支援、外国人を含め広い人材確保支援などの諸条件の整備を行い、積極的に企業立地や設備投資等を促進することにより、身近なところでいきいきと働くことのできる場の創出に努めました。

また、民間事業者と協力した事業展開や馬を素材とした商品開発等への支援などを通じて、馬を活用した雇用機会の創出につなげました。

【主な取組例】

就職困難者等の就労支援の促進、安心して働ける魅力ある職場づくり、新たな企業の立地促進、企業の人材確保・生産性向上の支援

令和6年度に実施した特徴ある取組(掲載事業5/7)

達成割合 3/7

取り組み内容	目標	実績	達成状況
ワーク・ライフ・バランスの実現〔働き方改革や多様な働き方への理解を進めるとともに、女性活躍を推進〕	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた女性活躍支援セミナーの開催(2回)、女性活躍推進セミナー開催(1回) 地域女性活躍推進交付金を活用しながら、女性活躍支援にむけた取り組みを行う。	・女性活躍支援(家庭性教育)に関するセミナーを2回実施。 ・女性活躍支援(おこづかいの役割)に関するセミナーを1回実施。 ・女性活躍推進(キャリア構築)をテーマにしたハイブリッド形式のセミナーを1回実施。	達成
トップセールスの展開と企業の立地促進	地区計画の申出 1件	0件	未達成
東部地区等開発整備の促進	東部地区新産業拠点における道路整備(2工区詳細設計)及び工業用水道施設の工事着手(野洲川推進工)	・東部地区の道路詳細設計(東部六地藏東西線2工区)の実施及び工業用水道施設の工事に着手した。	達成
市内企業の人材確保支援〔市内企業の魅力情報発信〕	栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック冊子記載事業者:50	46者	未達成
中小企業・小規模事業者の生産性向上支援〔中小企業者等の先端設備投資への支援〕	認定件数20件	認定件数10件	未達成

※7事業のうち、主な5事業を掲載しています。

【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

(2) 中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出

地域の雇用や経済を支える中小企業・小規模事業者について、国・県の施策を活用しつつ、各種助成の実施や相談サポート体制の充実により創業支援、事業機会拡大や持続的発展に向けた支援を行いました。

併せて、消費者のニーズとのマッチングによる市内小売業者の魅力や強みを活かした事業展開などにより、地域内での経済の好循環を生み出すための支援を行いました。

【主な取組例】

中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化支援、消費者ニーズを踏まえたまちのにぎわいの創出

令和6年度に実施した特徴ある取組(掲載事業6/6)

達成割合 4/6

取り組み内容	目標	実績	達成状況
関係機関等の連携によるサポート体制と相談体制による支援[りっとう経営なんでも相談会の実施]	相談件数24件	20件	未達成
経営基盤の強化と資金の支援[信用保証料助成制度の実施]	助成件数26件	11件	未達成
創業活動への支援[創業支援融資利子補給金制度の実施]	補給件数21件	24件	達成
個店の魅力向上[りっとうバル事業の実施]	バル参加店78店	95店	達成
空き店舗等対策の拡充[空き店舗等活用促進事業補助金制度の実施]	補助件数5件	5件	達成
地域経済の再活性化に向けたさらなる支援[りっとうプレミアム付商品券2024への支援]	商品券取扱店舗300店	322店	達成

【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

(3)農林業の振興支援による活性化の推進

高齢化、担い手不足などの課題解消に向け、新規就農者・定年帰農者への支援に取り組みました。
また、こだわり農業を推進することにより、農産物の付加価値を高めるとともに、市内における消費拡大(地産地消)の推進や、多様な土地利用により遊休農地等の解消を図りました。また、林業については、森林環境譲与税の活用による森林の整備と市内産材の好循環を進めることなどにより、森林の有する多目的機能を確保していききました。

【主な取組例】

農業振興基本計画の推進、優良農地の確保と適正利用の推進、農業生産の充実、農業生産基盤の整備、森林資源の保全と活用

令和6年度に実施した特徴ある取組(掲載事業5/8)				達成割合 5/8
取り組み内容	目標	実績	達成状況	
集落営農組織の法人化と認定農業者への支援〔営農規模の拡大や農産物の増産による生産の効率化及び販路拡大促進〕	集落営農組織の法人化数 認定農業者の計画認定数	集落営農組織の法人化数 0経営体 認定農業者の計画認定数 8経営体	達成	
6次産業化の推進	栗東市農業振興会を通じ6次産業化の研修や研究を実施する。	栗東市農業振興会において6次産業化の研修会を実施することができなかった。	未達成	
新たな森林管理システムを活用した森林整備の推進〔森林境界の明確化、林地台帳整備等〕	予定地域における森林所有者意向調査、境界明確化事業を実施する。	予定していた東坂地区(10.5ha)の境界明確化事業に遅れが生じ、繰越とした。	未達成	
こんぜの里周辺施設の公共施設マネジメントの推進	各ニーズ調査および条件整理を実施し、施設の方向性の判断材料としていく。	地権者、地域団体へのヒアリング調査及び市民ニーズ調査の実施	達成	
市民参加による野菜教室の開催〔種まきから販売までの体験〕	野菜教室への新規参加人数 15人	12人	未達成	

【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる

年度評価

数値目標である「事業所立地数」は、目標値には若干、満たなかったものの、「(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出」の重要業績指標「就業者数」、「(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出」の重要業績指標「消費生活における市内での購買割合」、「市内事業所の総売上額」、「(3)農林業の振興支援による活性化の推進」の重要業績指標「農地集積率(累計)」はいずれも目標値を達成することができました。

しかしながら、生産年齢人口の継続的な減少が見られることから、企業立地の促進による人の流れや良質な雇用創出を図り、また、担い手育成など市内企業の人材確保・定着に係る支援、人口減少下でも発展・持続可能な企業を目指し、生産性向上支援や経営効率化の支援を強化していく必要があります。

また、集落営農組織の法人化や認定農業者への支援、6次産業化の推進、新たな森林管理システムを活用した森林整備の推進などを引き続き実施し、農林業の担い手を確保する必要があります。